

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	社会福祉法人 台東つばさ福祉会 つばさ放課後クラブ			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～	2024年 11月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年 11月 7日		～	2024年 11月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画が適切に作成され、丁寧に保護者に説明されている。	面談だけでなく、連絡帳・電話・メールなどを通して、子どもの現状と保護者の想いを丁寧に共有するように心がけている。	個人に合わせた子どもへの説明スキルを磨いていく。
2	安心・安全な利用 子どもの安全確保や個人情報保護など、子ども及び家庭の安全が保証され、安心してご利用いただいている。	安全に関する各種学びや訓練の実施は、全職員を対象に行っている。マニュアルも作成し、毎年見直しを行っている。訓練は、全利用者を対象に行っている。	大災害時の緊急連絡ツールについて、導入できるツールを探していく。
3	将来に向けての自立活動(作業)を取り入れている。	家庭や利用開始前に利用していた事業だけでなく、将来を見通して、必要な力をつけることを目指している。	障害者通所施設にて、実際に行われている軽作業などを取り入れる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のほかの子どもと活動する機会が少ない。	・事業所として、地域の子どもに対しての活動との接点を作れていない。 ・健常児との交流を必ずしも希望しない保護者が多く、踏み出せないでいた。	・職員が地域の子ども対象事業と接点を作っていく。
2	保護者・きょうだいに対しての支援について、保護者からの評価が低い。	・保護者個別のご相談は丁寧にに対応しているが、保護者同士の交流が継続する支援までは、至っていない。 ・きょうだいへの取り組みは、行ってこなかった。	保護者のご意見も取り入れながら、立案していく。
3	学校を卒業していく子どもへの支援力が上がっていない。	学年に制限を設けての契約をしていないこともあり、結果的に、現在は利用年齢に偏りがあり、近年は高校を卒業する子どもの支援を実施していない。	今年度は、高校生が複数在籍している。高校卒業とともに社会に出る可能性が高いため、障害者施設等に移行していくことを視野に入れて、コミュニケーション力や集中力、体力、生活リズムを組み立てる支援を実行していく。